

<目指す学校像>

「人と人とのが交わり、心の交流が実感できる温かな学校」

所沢市立狭山ヶ丘中学校「学校だより」 — 令和6年9月 —

URL : <https://tokorozawa-sayamagaoka.edumap.jp/>



狭中だより

【学校教育目標】

『自立と共生』

校長 石原 健

2学期が始まりました。先生方に生徒たちの様子を聞いたところ、多くの生徒たちが順調なスタートを切れたようです。始業式の日には教室をのぞくと、夏休みの思い出ばなしが聞こえてくるなど、各々が充実した夏休みを送っていたことが伝わってきました。2学期は行事が多く、行事に追われるように時間が過ぎていってしまいます。「あの時やっておけば良かった…」とならぬよう先を見通し、計画的に過ごすことを心がけて下さい。各ご家庭でもご協力をお願いします。

2学期始業式校長講話より（一部抜粋）

この夏と言えば「パリオリンピック」での日本人選手の活躍はまだ記憶に新しいことと思います。開催地がフランスという事で時差の関係もあり、競技時刻が日本時間の深夜、早朝にあたりリアルタイムで活躍のシーンを目にした人も若干少なかったのではないかと思います。先日この場で壮行会を行った男子400mの佐藤拳太郎選手も大活躍でした。個人では予選敗退という残念な結果でしたが、400m×4の1600mリレーでは、順位こそ6位でしたが予選で日本新記録を樹立し、決勝では予選で樹立した日本記録をさらに更新しアジア新記録の樹立も果たしました。今から紹介するのは、決勝後（アジア新記録樹立後）の佐藤選手のコメントです。そのまま読みます。

まだまだ世界との差はあるなという気持ち。このチームを結成するとき、予選から2分58秒50以内というところを目標にしていた。そのタイムをクリアしても、メダル争いすらできないということで、見通しがあまかったというか、私たち4人が400m選手としてまだまだ弱いことを痛感している。ただ、アジア記録をマークしたことは、一つ誇りにしたい。日本のマイルチームは、ここからまだまだ成長していきたいと思っているし、その足がかりになれたのかなと思う。まずは来年、東京世界陸上があるので、そこでは必ずメダルが取れるチームを結成する。これからも応援していただきたい。

佐藤選手他3名のリレーチームは、今までの記録を更新しました。ということは今までの自分（たち）を超えたということです。しかもオリンピックという大舞台です。そして、佐藤選手のコメントにもあるように「ここからまだまだ成長していきたいと思っている、まずは来年、東京世界陸上があるので、そこでは必ずメダルが取れるチームを結成する」と決意も新たに語っています。結果が出てもさらに上を目指す姿勢、佐藤選手ならではのコメントだなと感心しました。皆さんも、この二学期に「今までの自分を越えられた」と実感できるといいですね。

コメントついでにスポーツ選手のコメントについて少しお話ししたいと思います。

最近の選手たちのコメントは素晴らしいものが多く、競技後のインタビューを聞くたびに感心させられることが多いです。選手によっては、後に名言と呼ばれるような気の利いたコメントをしようとしてしっかり準備をしてインタビューに臨んでいる選手がいますし、「名言を残したい」と声高に叫んでいる選手もいます。今回のオリンピックも「いいことを言うなあ」と感心したシーンも数多く目にしました。（名言になることを）狙っている狙っていないに関わらず、選手たちの表現力には感心させられます。その時の自分の気持ちを率直に他の人に伝わりやすい言葉で表現をする。あまり凝りすぎると（名言になることを）狙いすぎと思われるし、言葉が足りない伝わらないし（伝わらないとマスコミに取り上げてもらえないし）、なかなか難しい作業だと思います。日頃の生活の中でも、案外自分の伝えたいことが相手に伝わっていないという事はあるものです。「相手に伝わる話し方、表現の仕方」を心がけ実践し、できるようになることで、その後の生活は皆さんにとって絶対に豊かなものになるはず。皆さんもインタビューの準備をする訳ではないですが、「相手に伝わる話し方、表現の仕方」を、日頃から心がけて生活してみてください。

※参考 日本チームの記録：6位 2分58秒33

- 1位 アメリカ 2分54秒43（オリンピック記録）
- 2位 オランダ 2分54秒53
- 3位 イギリス 2分55秒83

